



板荷中だより

<http://kanuma-school.ed.jp/j-itaga/>

<< 教育目標 >>

- ・ 自ら考え学習する生徒
- ・ 思いやりを態度で示せる生徒
- ・ 何事も全力で頑張る生徒

発行 板荷中学校
住所 板荷2675
電話 64-8151

やまなみ祭を通して

「団結」～今だからできることを全力でやりきる

今年度の全体テーマは「団結」です。コロナ禍のため、例年とは違う形式で違う場での発表となります。このテーマをもとにして、学年ごとに下のようなテーマを設けて、計画・準備・撮影・編集の活動を行いました。動画の完成が最終目標ではなく、動画の制作を通して、学年テーマに込められた目標や目的が達成できるよう活動を進めています。

3年生 「満開」～今こそ蕾を花に変えるとき～

今年が最後となります。3年生は、これまでの自分たちは蕾だったという振り返りから、そろそろみんなで花を咲かせようという意味でこのテーマを設けています。一人一人の個性を十分に発揮した活動と作品づくりを目指しました。脚本、演出、小物づくり、撮影、編集等、生徒がそれぞれの個性を活かして取り組みました。



2年生 「限界突破」～解き放て15人の力～

一人一人が創意工夫を凝らし、諦めずに全力で粘り強く取り組み成功させようというねらいをもとに、誰も可能にしたことのないようなゲーム的な活動や自分の苦手とする事に挑戦し続ける活動を個人やグループに分かれて進め、限界突破のようすを撮影しました。15人の力の結晶が残るよう制作をしました。



1年生 「協力」～12人の笑顔あふれるやまなみ祭～

新型コロナウイルスの感染拡大の影響でできないことが多くなっている。しかし、コロナ禍の中でもできることを全員で考え、一人一人が前向きな気持ちと姿勢で活動することをねらいに、全員が協力し合って笑顔をつくれるよう活動を進めました。



学年の様子に合わせて、生徒がつくったテーマで作品づくりを行い、「個性の発揮」・「粘り強さの発揮」・「協力と笑顔づくり」ができれば、今年度のやまなみ祭は成功だと考えています。

『何を頑張った』のかも大切です。そして、さらに『頑張って何を身につけたのか』も大切です。来年度から教科書が変わり、これからの予測困難な新しい時代に必要となる資質・能力を子どもに身につけさせる教育活動が全面的に始まります。本校も、「何を学ぶか」・「どのように学ぶか」・「何ができるようになるか」の3つの要素から学習指導を中心に教育活動を見直しています。やまなみ祭の活動は縮小された中ですが、生徒の振り返りから3つの要素についてやまなみ祭の活動を振り返る予定です。

10月14日 授業力向上訪問

全国や県の学習調査の分析から、本校生徒の課題として、「多くの情報から必要な情報を取り出して課題を解決すること」が苦手な項目として挙げられます。授業改善の課題も生徒の実態を踏まえ、学校の取り組む課題を「主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくり」としています。教育委員会の指導や助言を受け、今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。

保健関係各種検診の終了

13日に心臓検診、20日に内科検診がありました。遅れていた検診もすべて終了しました。

下校時間の変更

今年度より10月・11月は、日没の時間に合わせて、下校完了の時刻を変更しています。10月後半は前半より15分短くなっています。安全な下校へのご協力に感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて ～文部科学大臣メッセージ～

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ説明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」、「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気が広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月

文部科学大臣 萩生田 光一

※板荷小学校とも連携して掲載しています。

※発表は8月25日にありましたが、地域の皆さまへのお知らせが遅れ、大変申し訳ありませんでした。



4日(水) 研究授業(国語)
5日(木) 食育の話3
6日(金) テスト前部活動中止(～9日)
9日(月) 期末テスト(～10日)

10日(火) 3年三者懇談、1・2年教育相談
[12日、13日、16日、17日]
18日(水) 研究授業(音楽)
27日(金) 愛校の日